まゆだま広場 情報 Clip 147 号

群馬大学 ダイバーシティ推進センター November 2026



社会資源情報№147 〈 群馬「道の駅」情報 〉

最近何かと話題になっている「道の駅」。群馬県内には 33 か所もの道の駅が設置されています。ドライブイン的なトイレ休憩規模の小さなところから、ちょっとしたレジャー感覚で楽しめる大規模なところまで多種多様です。今回は県内の 33 か所を一挙にご紹介!!お近くにお出かけの際のお役に立てば、幸いです。

EV 充電設備あり　ガソリン給油施設あり　♨温泉施設あり　※マーク無しも含めすべての道の駅にレストラン又は軽食喫茶はありますよ!!

ぐりーんふらわー牧場・大胡	オアシスなんもく	甘楽	上野	六合	くろほね・やまびこ	おのこ	玉村宿
草津運動茶屋公園	あぐりーむ昭和				くらぶち小栗の里	みょうぎ	おおた
まえばし赤城♨	中山盆地♨				よしおか温泉♨	ららん藤岡	万葉の里
みなかみ水紀行館	あがつま峡♨				こもち	ふじみ♨	霊山たけやま
月夜野矢瀬親水公園	川場田園プラザ				しもにた	白沢♨	上州おにし
八ッ場ふるさと館♨	尾瀬かたしな				たくみの里	赤城の恵♨	富弘美術館

Topic

群馬大学で学び働く方のインタビューをこのコーナーでご紹介します。様々なワークライフバランスを知ることでダイバーシティや男女共同参画をより身近に感じ考える機会にしていただけたらと思います。

まゆだま№147　大学院理工学府電子・機械部門　教授　高橋 俊樹 先生



Q ご自身の研究について？研究を続けるモチベーションや活力源は？

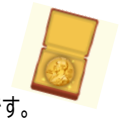
A.プラズマの動き、つまり⊖と⊕の粒子を動かすことの研究をしています。核融合のためのプラズマを維持させる分析や解析などに於いても、なぜそうなるのか？という謎を明らかにすることが研究の楽しさでもありモチベーションになっています。子どもが 2～3 歳くらいの時に花粉症を発症しまして、それがきっかけとなり花粉対策に起因した工学系の部分での研究も深まりました。高度技術を用いた新商品が色々出てくるので、依頼を受けて空気清浄機の機能についての監修をしたこともあります。実際に身近な生活に役立つ研究も出来ていると思うと活力が湧きますね。



Q.自分の両立スタイルについて？家族に寄せる思いは？　A.スタイルとしては･･･多分私の考え方って、人が幸せになることが喜びというところがあってね。幸せそうな人を見ていると自分も幸せな気持ちになれるでしょ(笑)。実際の両立という点では、子育てには積極的に関われたと思っています。子どもの幼稚園の送迎なんかもしましたし、行事にも参加しましたね。親子遠足に行った時は我が子と遊んでいたはずが、気付くと沢山の子ども達に囲まれていて大勢と遊んでいたなんてこともあり、幼稚園の先生から「幼稚園の先生にピッタリ!」と言われました(笑)。今は子どもたちも大人になっていますが、家族で過ごすのはやはり楽しい時間ですね。妻や子に対しても、学生に対しても、人としてのリスペクトの気持ちを忘れないようにしています。妻はスクールカウンセラーとして頑張っていますし、娘二人と息子もそれぞれ自分で決めた道を進み頑張っています。それが本人の幸せであれば後は応援するだけですよ。結果としては家族の幸せが私の幸せなんですよね。



Q.研究者・教員として嬉しかったことは？　A.教員としては、学生を応援しているからこそ学生が表彰されたりすると嬉しいですね。人はタイプも背景もそれぞれなので、指導や対応もバリエーションをつけて向き合うようにしていますので、学生がそれぞれの力をしっかり発揮できることは喜びでもあります。私自身の研究生活はまだまだ道半ばという風に捉えているんです。だってね･･･幼い時の夢がノーベル賞を取る!ですからねぇ(笑)。その頃の夢はこれからも忘れないようにしないとね(笑顔)。目の前のことを一つずつクリアすることはその都度喜びとやりがいがありますが、研究者としては絶えず次の目標を持つようになります。研究は未知のものに向かっているという壮大さもありますから、大きな夢を持ちながら続けたいなと思っているんです。





Q.こう見えて〇〇という秘密は？ 趣味や特技などは？　A.こう見えて･･･マッチョです(笑)!!趣味は、体づくり。体を鍛えるのが好きです。そしてこう見えてルーティーンも好き。朝起きて、腕立 100 回、腹筋 400 回、夜のお風呂ではハイパーベンチレーション(息止め)などします。自身の中で年間で最低でも 121.5 ㎞走ろうというラインも設けているので、平日も昼休みの 1 時間で 10 キロくらいは走っちゃいますね。梅田の方面には近隣の高校の陸上部が 1 ㎞ごとの表示をしているのでそれを目安にしています。夜は寝る前にヨガで体をほぐします。腰を痛めたのをきっかけにタスク管理が得意な長女から勧められました(笑)。憧れの偉人の自伝を読むのも好きです。後はね、日記を書いてますねぇ。日記は万年筆で書きます。大学の時に書かなかった時期もありましたが、自分自身の振り返りにもなるので再開してからは続けています。



Q.これまでの経験から得たことは？学生や後進の研究者へのアドバイスやエールは？

A.これは反面教師として伝えたいのですが、コツコツ続けて積み重ねることは大切ですね。若い時は瞬発力があるので、無理ができるし何とかなるのですが、それが段々利かなくなってくる(笑)。年齢!?の中には仕事が増えたり、スタミナが落ちたりも含まれます。私はどちらかというと短期集中のタイプだったので自分のそのスタイルを継続するには、経年に抗うための体力が必要(笑)。瞬発力を補う意味でも体づくりが不可欠になっています。だから生涯続けることにはコツコツという部分も大切だと感じていますね。もう一つは自分を知るということ。私自身は常に最適解を求めるよう心がけているのですが、自分を向上させるためには先ず自分を良く知ることが大事だと思います。知っていれば何が必要かということがより早く見つかり、最適解への到達も早くなるかと思います。

Q. ズバリ自己評価を伺いました！　A.ワーク満足度　高い目標からの満足度は 20%くらいですが･･･幸せ度としては　100%
A.ライフ満足度　これはもう幸せ満足度で　100%

人を照らす太陽のような大きな存在感の中に、強い芯を持つ高橋先生は謙虚で堅実な研究者。大学教員として学びを教える際も、学生を一人の人間として尊重する気持ちで向き合うことを大切にしているというお話に、懐の深さと愛情を感じました。お父さんとしての活躍ぶりも素晴らしく、お子さんが幼少期に所属していたスポーツクラブのマラソン大会では、家族の部での新記録で優勝をして名を残したという名誉もお持ちです。結果もさることながら、そのための努力を欠かさなかったお父さんの姿もお子さんの心に見事に残ったことでしょう。常にやりたいことを見守り望みが叶うようアシストするという姿勢は、先生が出した家族愛の最適解なのですね。夢を忘れないようにしないといけない!と凛々しく語る高橋先生の言葉には、夢は見るものではなく持ち続けるものであり、日々の努力や研鑽はいつか夢が叶うためのアイテムでもあるのだという希望が詰まっていました。問題を解きながら人生を説くという高橋先生の人生観には、幸せと輝きのスパイスが効いていることを知り、感銘と感動を受けました!!

群馬大学 ダイバーシティ推進センター　TEL･FAX　027-220-7143
mail : kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp
まゆだま相談担当：両立支援アドバイザー 中村 治美（内線 7134）
（アドバイザー直通） mail : h-naka@gunma-u.ac.jp

【相談のご案内】10:00～16:00OPEN　ご予約は各キャンパスのまゆだま広場まで⇒

勤務日の都合上返信に少々お時間をいただきますが、電話やメールでの相談も受け付けておりますので直接出向く時間のない方でも、気軽に相談していただけます。

荒牧 まゆだま広場 毎週火曜日 第 1･3･5 木曜日 3号館 112

昭和 まゆだま広場 毎週水曜日 診療棟 3　1階

桐生 まゆだま広場 第 2･4 木曜日 総合研究棟 5階